

ESG説明資料

2025年12月

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

THE INCLUSION OF Sanwa Holdings Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Sanwa Holdings Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

■ 本日のアジェンダ

- 1. 「中期経営計画2027」とKPI**
- 2. 資本コストを意識した経営による企業価値向上**
- 3. 外部からの評価**

1. 「中期経営計画2027」とKPI

**To be a Global Leader of
Smart Entrance Solutions**
～ 高機能開口部のグローバルリーダーへ ～

中期経営計画2027

気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える
高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた
基盤を強化・拡充する

基本戦略

- ① 日・米・欧のコア事業の強化、領域拡大
- ② アジア事業の利益を伴う成長
- ③ 防災・環境対応製品とスマート化製品・サービスによる事業拡大
- ④ デジタル化とものづくり革新による生産性向上と能力増強
- ⑤ **サステナビリティ経営と人的資本経営の推進**

- ＞ 「ものづくり」「環境」「人」「グループの経営基盤」をテーマに取り組みを推進しており、
- ＞ 特に「人的資本経営の推進」に重点を置き「人」への取り組みを強化していく

**個と組織の成長によりエンゲージメントを向上させ、
働きがいと魅力あふれる企業となる**



1

地域別経営戦略に連動した人材の確保、戦略的配置、能力開発

- 成長戦略に紐づいた人材育成
- デジタルスキル等の底上げと専門人材の育成

2

安全で健康な職場づくりとウェルビーイングの推進

- 多様な人材の活躍
- 働きやすい環境整備
- 健康経営の推進

3

エンゲージメント向上による組織パフォーマンスの最大化

- 使命、経営理念の共有
- 報酬制度見直し
- 社内コミュニケーション活性化
- 貢献意欲の向上

1. 「中期経営計画2027」とKPI

1

ものづくり



▶p.4-5

2

環境



▶p.6-7

3

人









▶p.8-9

4

グループの
経営基盤



▶p.10

ESGマテリアリティ	取り組みテーマ	2024年度実績	中期経営計画2027KPI	対象範囲	貢献するSDGs	
商品、サービスを通じた 気候変動・防災への貢献	気候変動の緩和に貢献する商品売上高	1,062億円	1,120億円（2027年度）	連結	  	
	気候変動の適応に貢献する商品売上高	261億円	280億円（2027年度）			
	防災に貢献する商品売上高	811億円	900億円（2027年度）			
	メンテナンス・サービス事業売上高	882億円	1,020億円（2027年度）			
品質の確保・向上	各社の品質方針に沿った品質目標の達成	―――	―――			
脱炭素社会へ向けた取り組み	CO2排出量(Scope1+2)の削減	FY2019比 13.2%削減	FY2019比 20%削減（2027年度） FY2019比 30%削減（2030年度）	三和シャッター工業	  	
水資源の保全	水使用量原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比 27.0%削減	FY2020比 30%削減（2030年度）			
廃棄物の削減	廃棄物排出量原単位(工場・事務所)の削減	FY2020比 57.3%削減	FY2020比 60%削減（2030年度）			
人材育成	1人あたり年間研修時間	32.89時間	38時間（2027年度）	三和シャッター工業	  	
	デジタル教育(基礎編)受講率	新規設定KPI	90%（2027年度）			
	デジタル教育(応用編)受講者数	新規設定KPI	70名（2027年度）			
ダイバーシティの推進	女性従業員比率	20.9%	25%以上（2030年度）	連結		
		13.3%	15%以上（2030年度）	三和シャッター工業		
	新卒女性採用比率	31.1%	30%以上（毎年）	三和シャッター工業		
	女性管理職比率	15.9%	20%以上（2030年度）	連結		
	男性育児休業取得率	34.5%	70%以上（2027年度） 100%（2030年度）	三和シャッター工業		
安全と健康	肥満率（BMI25以上）	35.5%	30%（2030年度）	国内グループ		
	喫煙率	28.6%	25%（2030年度）			
	ハイリスク者受診率	60.0%	100%（2030年度）	三和シャッター工業		
	有給休暇取得率	55.5%	70%（2027年度）			
コーポレート・ガバナンス	取締役会の多様性確保	指名・報酬委員会の委員長を社外取締役に變更	ボードダイバーシティへの対応（2027年度）	三和ホールディングス	  	
	ステークホルダーダイアログ実施回数	340回	350回（2027年度）			
人権の尊重	人権リスクの特定、除去、防止	人権デュー・デリジェンスの実施	人権デュー・デリジェンスの継続実施と改善（2027年度）	国内・アジア		
コンプライアンス	コンプライアンス研修受講者数	7,807名	8,000名（2027年度）	国内グループ		
	コンプライアンス研修受講率	99%	100%（2027年度）			

1-1.「ものづくり」のKPI

■ 気候変動の“緩和”と“適応”に貢献する商品

緩和

空調効率を向上させる高速シートシャッターなど、温室効果ガスを抑制して、地球温暖化の進行を食い止める“緩和”に貢献する商品



2024年度目標
960 億円

2024年度実績
1,062 億円

2027年度目標
1,120 億円

適応

気候変動の進行に備えた防水・耐風商品など、気候変動による被害の回避・低減に備える“適応”に貢献する商品



2024年度目標
180 億円

2024年度実績
261 億円

2027年度目標
280 億円

■ 防災に貢献する商品

延焼防止、安全な区画形成に貢献する防火シャッター、防火ドア、耐火間仕切や、地震時の被害軽減に貢献する耐震仕様商品



2024年度目標
810 億円

2024年度実績
811 億円

2027年度目標
900 億円

■ 防災機能を支えるメンテナンス・サービス

社会インフラとしての防災機能の維持と、住み続けられるまちの実現に貢献するメンテナンス、点検、修理サービス



2024年度目標
760 億円

2024年度実績
882 億円

2027年度目標
1,020 億円

三和グループは、世界中の工場・倉庫などの 開口部の空調効率を向上させることで、 気候変動の緩和に貢献しています。

Europe

上海宝産三和



快速软卷帘门

高速高頻度性能を有するシートシャッター。高速開閉により室内外の熱流出入を抑え空調効率を向上。

NF



優れた断熱性能を有するガレージドア。パネル厚の同じ他のガレージドア商品と比較して、断熱性能が最大17%向上。

Evolution premium sectional garage door with thermal break



NovoDock L730i

物流倉庫の搬入口でトラックの荷台との高さを合わせ、空気の流出入を抑制するドックレバラー。



2024年「超」モノづくり部品大賞の「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞！

Japan

三和シャッター工業

Re-carbo

CO2 削減、省エネルギーに寄与する高断熱商品・サービスを「Re-carbo」シリーズとしてラインアップ



高断熱オーバースライダー

高い断熱性能を有するオーバースライダー。従来の商品ではパネルが凍結するため使用できなかった室内温度0℃以下の保冷倉庫などにも設置可能。



断熱クイックセーバー-TR

断熱性能を有し、高速高頻度開閉に対応するシートシャッター。高い密閉性により外部からの空気の流入を防ぎ断熱性を確保。

North America

ODC



RapidFreeze™ Insulated Fabric Doors

冷凍倉庫の開口部等に設置される高速シートシャッター。内外温度が大きく異なる環境においても、熱の流出入と結露発生を防ぐ。



Thermacore® Sectional Steel Door - 591

断熱性の高い41mm厚のセクショナルドア。幅広い開口サイズと幅広い用途に適合。

1-2.「環境」のKPI

■ 脱炭素社会へ向けた取り組み

「中期経営計画2027」において、新しく2027年度のCO2排出量削減目標を設定。

2027年度目標 2019年度比 **20%削減** (三和シャッター工業)

2030年度目標 2019年度比 **30%削減** (三和シャッター工業)

2050年度目標 三和グループとして事業活動に伴うCO2排出量実質ゼロを目指す



■ 水資源の保全

「中期経営計画2027」において水使用量原単位※削減目標を引き上げ、水使用量の削減活動を推進中。

※水使用量原単位 = 水使用量(m³)/売上金額(百万円)

「中期経営計画2024」KPI

2030年度目標
2020年度比 **10%削減**

2024年度実績

2024年度実績
2020年度比 **27.0%削減**

達成

「中期経営計画2027」KPI

2030年度目標
2020年度比 **30%削減**

引き上げ

※適用範囲：三和シャッター工業

■ 廃棄物の削減

「中期経営計画2027」において廃棄物排出量原単位※削減目標を引き上げ、廃棄物排出量の削減活動を推進中。

※廃棄物排出量原単位 = 廃棄物排出量(kg)/売上金額(百万円)

「中期経営計画2024」KPI

2030年度目標
2020年度比 **10%削減**

2024年度実績

2024年度実績
2020年度比 **57.3%削減**

達成

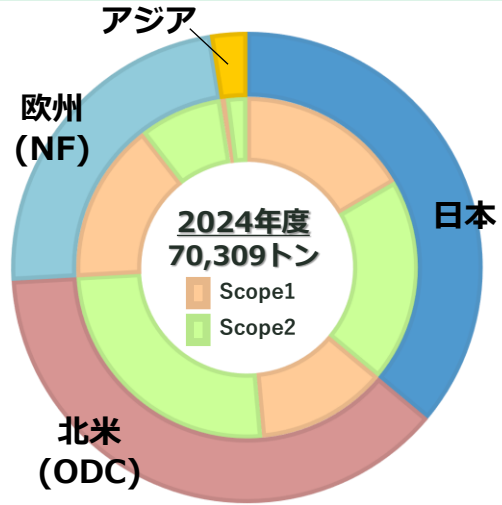
「中期経営計画2027」KPI

2030年度目標
2020年度比 **60%削減**

引き上げ

※適用範囲：三和シャッター工業

■ Scope1,2排出量(三和グループ連結/2024年度)



Scope1,2排出量実績(2024年度)
適用範囲：三和グループ連結

日本：25,374トン
(Scope1:11,642トン/Scope2:13,733トン)

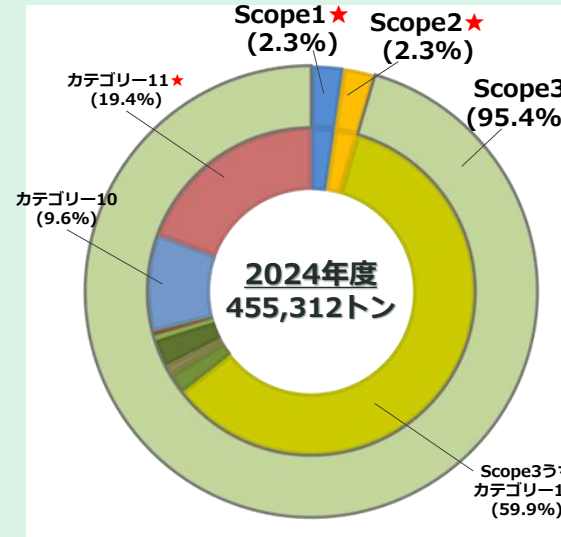
北米：26,743トン
(Scope1:8,781トン/Scope2:17,961トン)

欧州：16,425トン
(Scope1:10,806トン/Scope2:5,619トン)

アジア：1,767トン
(Scope1:386トン/Scope2:1,381トン)

合計：70,309トン

■ Scope1,2,3排出量(三和シャッター工業/2024年度)



Scope1、2、3排出量実績(2024年度)
適用範囲：三和シャッター工業
★印は第三者検証取得

Scope1：10,400トン★
Scope2：10,337トン★
Scope3：434,575トン
(うちカテゴリ-1：272,650トン★
カテゴリ-2：9,175トン★
カテゴリ-3：4,677トン★
カテゴリ-4：12,311トン★
カテゴリ-5：2,156トン★
カテゴリ-6：429トン★
カテゴリ-7：1,396トン★
カテゴリ-10：43,651トン★
カテゴリ-11：88,131トン★)

Scope1+2+3合計：455,312トン

※ Scope1、Scope2、Scope3のうちカテゴリ-1(購入した製品・サービス)、カテゴリ-3(Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動)およびカテゴリ-11(販売した製品の使用 = 販売した製品をお客様が使用することで生じるCO₂排出量)は、一般社団法人日本能率協会サステナビリティセンターによる第三者検証を取得。

Topics 国内・海外の工場に、太陽光発電設備の導入を推進中！

稼働時期	工場名	パネル総面積 (㎡)	発電能力 (kW)	年間CO2削減見込量 (t)
2021年12月～	三和シャッター工業 太田ドア工場	3,500	710	300
2023年4月～	NF Luton工場(イギリス)	1,566	300	165
2023年4月～	NF Schievano工場(イタリア)	4,798	1,044	746
2023年5月～	NF Guarnizo工場(スペイン)	1,100	156	79.7
2023年6月～	NF Morero工場(スペイン)	670	95	52.4
2023年6月～	上海宝産三和工場(中国)	1,447	302	250
2023年7月～	三和シャッター工業 九州工場	7,016	1,478	460
2024年6月～	三和NF常熟(中国)	6,680	1,500	1,397
2024年9月～	三和シャッター工業 静岡工場	4,500	1,014	340
2025年4月～	三和シャッター工業 太田ドア工場 ※ソーラーカーポート	3,254	724.5	315



1-3.「人」のKPI

■三和グループ人材戦略に基づいた指標・目標

	人材戦略	重要テーマ	指標・目標		対象範囲	
1	地域別経営戦略に連動した人材の確保、戦略的配置、能力開発	・成長戦略に紐づいた人材育成	新規	1人あたり年間研修時間:38時間(2027年度)	三和シャッター工業	
		・デジタルスキルの底上げとデジタル人材の育成	新規	デジタル教育(基礎編)受講率:90%(2027年度)	三和シャッター工業	
			新規	デジタル教育(応用編)受講者数:70名(2027年度)	三和シャッター工業	
2	安全で健康な職場づくりとウェルビーイングの推進	・多様な人材の活躍	女性従業員比率	引き上げ	25%以上(2030年度)	連結
				新規	15%以上(2030年度)	三和シャッター工業
			新規	新卒女性採用比率:30%以上(毎年)	三和シャッター工業	
			女性管理職比率	引き上げ	20%以上(2030年度)	連結
		・働きやすい環境整備	男性育児休業取得率	新規	70%以上(2027年度)	三和シャッター工業
				引き上げ	100%(2030年度)	三和シャッター工業
		・健康経営の推進	継続	肥満率(BMI25以上):30%(2030年度)	国内グループ	
			継続	喫煙率:25%(2030年度)	国内グループ	
継続	ハイリスク者受診率:100%(2030年度)		三和シャッター工業			
引き上げ	有給休暇取得率:70%(2027年度)		三和シャッター工業			
3	エンゲージメント向上による組織パフォーマンスの最大化	・使命、経営理念の共有 ・報酬制度見直し ・社内コミュニケーション活性化 ・貢献意欲の向上	経営職群向け株式付与制度導入		三和シャッター工業	
		エンゲージメントサーベイ実施検討		国内グループ		

※ 新規 「中期経営計画2027」で新しく設定したKPI 引き上げ 「中期経営計画2027」で目標を引き上げたKPI 継続 「中期経営計画2024」から継続するKPI

1-3.「人」のKPI

■三和グループ人材戦略における施策

1

地域別経営戦略に連動した人材の確保、戦略的配置、能力開発

- ＞ リファラル、アルムナイ採用など幅広い採用チャネルの活用
- ＞ スキルマップを活用した教育とデジタル人材の育成



2

安全で健康な職場づくりとウェルビーイングの推進

- ＞ 育児・介護との両立支援制度の拡充と環境整備
- ＞ 三和グループ健康経営宣言・健康経営戦略マップの公表、プレゼンティーイズム、ワーク・エンゲージメントの測定・開示



3

エンゲージメント向上による組織パフォーマンスの最大化

- ＞ 経営職群向け株式付与制度の導入
- ＞ エンゲージメントサーベイの実施



1-4.「グループの経営基盤」への取組み

■ ガバナンス強化の変遷

2000年	執行役員制度の導入	
	社外監査役(1名)選任	
2003年	グループ経営戦略委員会設置	
	国内事業・海外事業PDCA会議 (現 地域別PDCA会議)設置	
2005年	グループCSR推進会議設置	
2006年	社外監査役(2名)選任	
2007年	持株会社体制への移行	
2008年	社外取締役(1名)選任	社外取締役比率 10.0%
	監査等委員会設置会社へ移行	
2016年	経営会議設置	
	社外取締役(3名)選任	社外取締役比率 27.3%
	指名・報酬委員会設置	
2021年	サステナビリティ委員会設置	
	個人別の役員報酬等の決定方針 (譲渡制限付株式報酬に変更)を決議	
2022年	女性社外取締役(1名)選任	社外取締役比率 40.0%
2023年	株式保有ガイドラインを制定	
2024年	指名・報酬委員会の委員長を 社外取締役に	社外取締役比率 44.4%
2025年	監査等委員会の委員長を社外取締役に 外国籍社外取締役(1名)選任	社外取締役比率 50.0%

■ 取締役の報酬等

● 報酬等の割合に関する方針

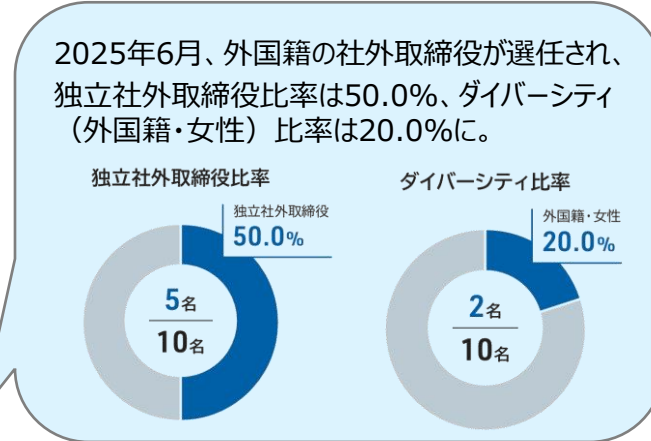
基本報酬 (45%)	:	業績連動報酬 (40%)	:	非金銭報酬 (15%)
---------------	---	-----------------	---	----------------

● 業績連動報酬に関する方針

個別取締役ごとの 業績連動報酬 (算式)	=	ポイント数	×	ポイント単価	×	個別評価
ポイント数		役位別に設定				
ポイント単価		前年度ポイント単価 × 前年度比増減率 × 増幅係数				
個別評価		±25%				

● 指名・報酬委員会

- ・2024年度は全2回開催。出席率は100%。
- ・全委員5名中、社内取締役2名、社外取締役3名。
- ・委員長は社外取締役。



■ 取締役会スキル・マトリックス

	氏名	スキル項目(当社が期待する能力・見識・経験等)									多様性	
		企業経営	業界知識 業界経験	グローバル 経験	営業 マーケティング	製造・技術 開発・品質	IT デジタル	財務・会計 金融	人事・労務 人材開発	法務 リスクマネジメント コンプライアンス	外国籍	女性
取締役 (監査等委員 である取締役 を除く)	高山 靖司	●	●				●	●	●	●		
	山崎 弘之	●		●			●	●	●	●		
	道場 敏明	●	●	●	●			●				
	高山 盟司	●	●		●	●		●	●			
	横田 正伸	●		●		●			●			
監査等委員 である 取締役	石村 弘子	●		●	●		●					●
	米澤 常克	●	●	●	●							
	山岡 直人		●					●	●	●		
	五木田 彬							●	●	●		
	マイケル モリズミ Michael Morizumi	●		●				●			●	

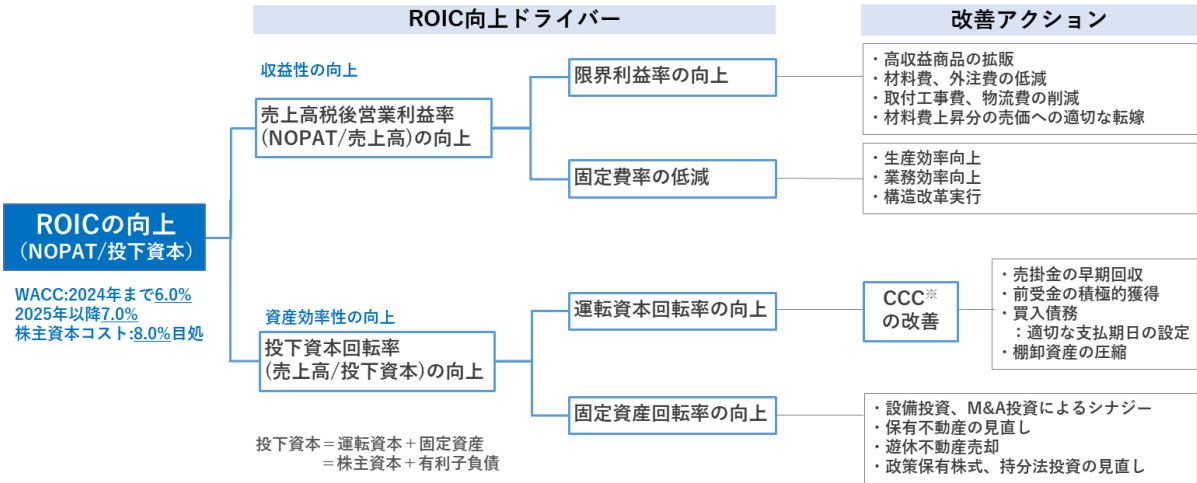
※上表は取締役が有するすべての能力・見識・経験等を表すものではありません。

■ 期待されるスキル

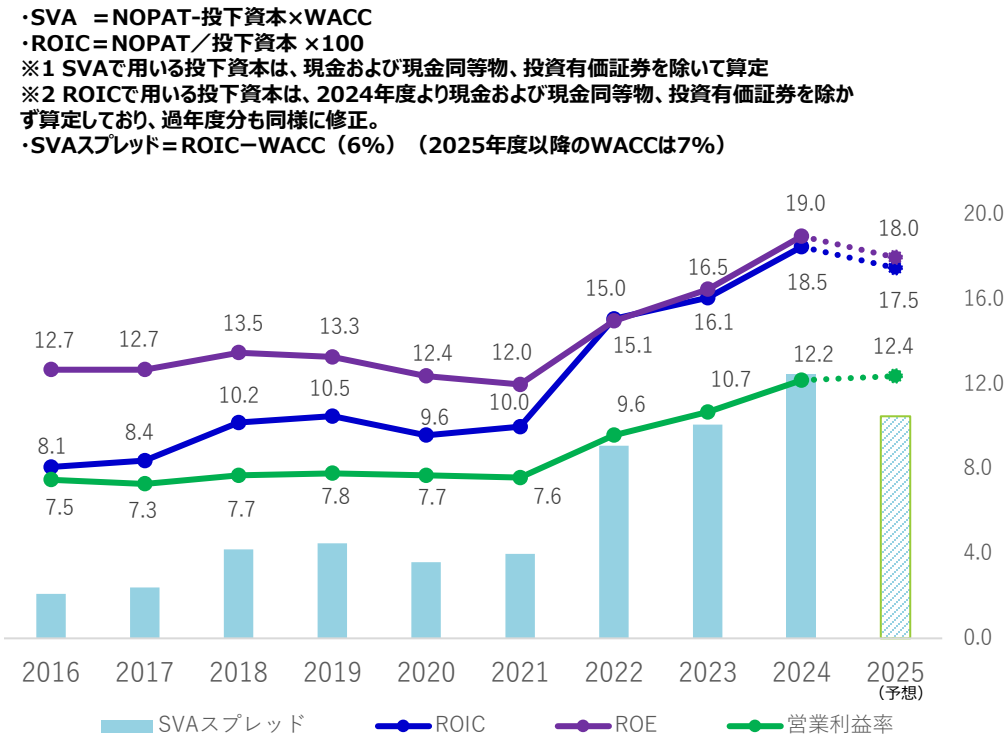
企業経営	企業において代表取締役または代表取締役に準ずる幅広い管掌範囲を持つ役員経験を有していること。	ITデジタル	デジタル技術を活用し、事業と業務オペレーションの変革、効率化を推進するための知見を有していること。
業界知識・業界経験	業界での知識、経験を活かし、当社の成長に寄与するマネジメントスキルを有していること。	財務・会計金融	成長投資、健全な財務、株主還元のバランスのとれた経営基盤を構築するための財務・会計知識を有していること。
グローバル経験	日本国外でのビジネス経験、またはグローバルに事業を展開する会社のマネジメント経験があること。	人事・労務・人材開発	経営戦略と連動した人材育成等、人的資本経営に関する執行状況を監督し得るスキル・経験を有していること。
営業マーケティング	変化の激しいビジネス環境の中で事業機会を創造する先見性を有していること。	法務・リスクマネジメント・コンプライアンス	法務・企業統治・リスク管理の観点から迅速かつ適切に対応しステークホルダーからの信頼を確保するための知見を有していること。
製造・技術・開発・品質	顧客からの信頼を獲得するための、ものづくり(製造、技術、開発)と品質を確保するための知見を有していること。		

2. 資本コストを意識した経営による企業価値向上

- ・2001年から当社独自の経済的付加価値指標としてSVAを導入し、継続的に資本効率改善に注力
- ・下記改善アクションを各拠点で展開し、資本コスト経営の浸透によるROICの改善を図る

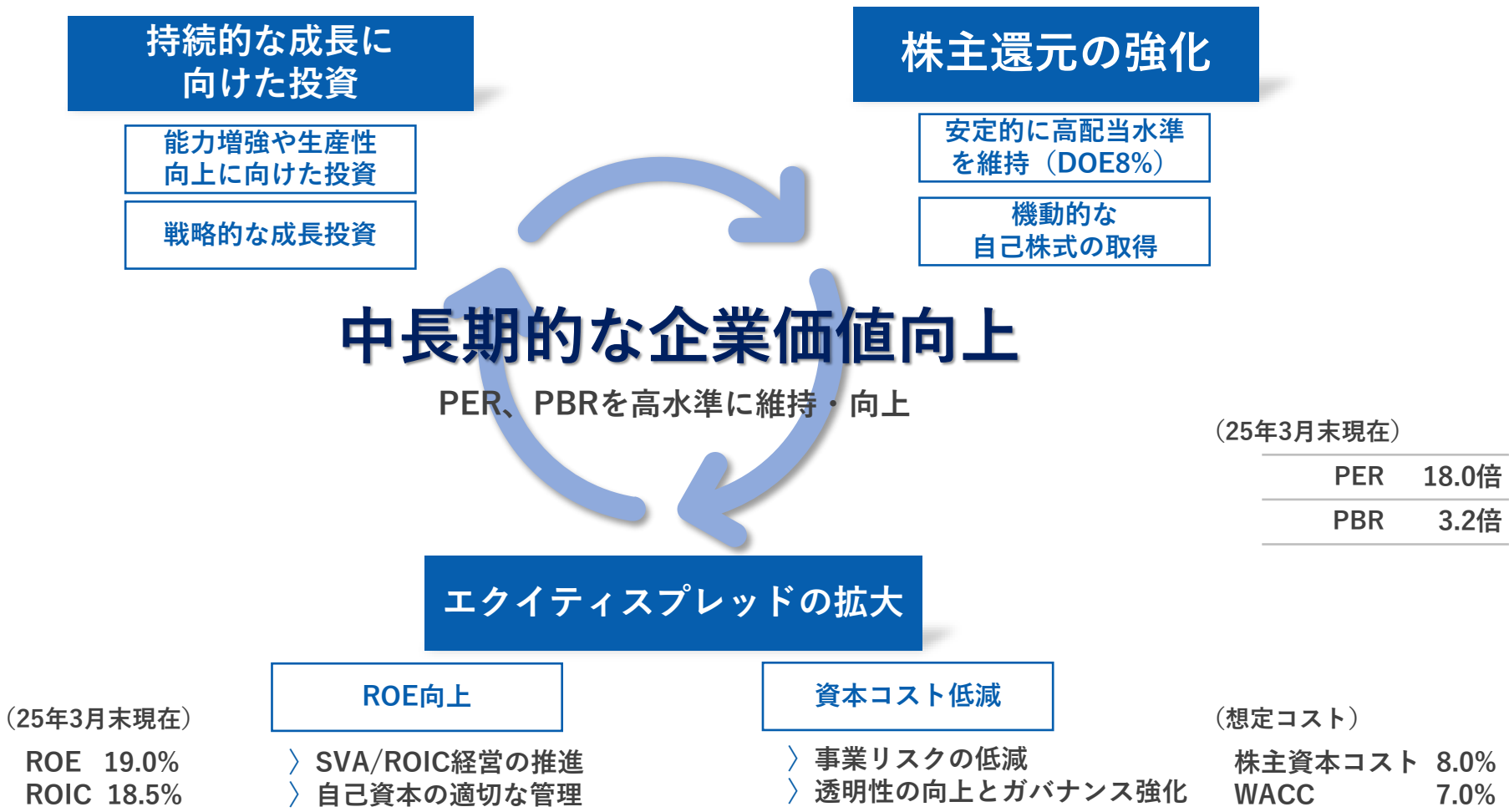


主要指標	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
SVA (※1)	322億円	418億円	395億円
ROIC (※2)	16.1%	18.5%	17.5%
ROE	16.5%	19.0%	18.0%
自己資本比率	57.7%	60.2%	59.0%
D／Eレシオ	0.16倍	0.14倍	0.14倍
配当性向	39.8%	40.1%	45.8%
DOE	－	－	8.0%
PBR	2.1倍	3.2倍	－
PER	13.7倍	18.0倍	－











2. 資本コストを意識した経営による企業価値向上

＞持続的な成長に向けた投資と株主還元の最適な資金配分に加え、エクイティスプレッドの拡大により、中長期的に企業価値を向上させる



3. 外部からの評価

三和グループのサステナビリティへの取り組みや情報開示の姿勢が社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れや様々な賞を受けるなどの評価を受けている。

ESGインデックスへの選定		主な受賞・評価		
<p>MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>MSCI ESG RATINGS</p> <p>AA</p> <p>CCC B BB BBB A AA AAA</p>	<p>FTSE4Good Index Series</p>  <p>FTSE4Good</p>	<p>CDP2025 気候変動Aリスト</p> 	<p>2025年度日経サステナブル総合調査 SDGs経営編 ★3</p> <p>NIKKEI SDGs</p> <p>経営調査 2025 ★★★</p>	<p>健康経営優良法人2025 (大規模法人部門)</p> 
<p>FTSE Blossom Japan Index</p>  <p>FTSE Blossom Japan</p>	<p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>  <p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>	<p>ブロードバンドセキュリティ Gomez IRサイトランキング2025 「金賞」</p> 	<p>日興アイ・アール 2025年度全上場企業ホームページ 充実度ランキング 総合・業種別「最優秀企業」</p> 	<p>大和インベスター・リレーションズ 2025年インターネットIR表彰 「優良賞」</p> 
<p>SOMPOサステナビリティ・インデックス</p> <p>2025</p>  <p>Sompo Sustainability Index</p>	<p>S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数</p> 	発行体格付		
		日本格付研究所 (JCR)		格付投資情報センター (R&I)
		AA－ (安定的)		A＋ (安定的)

THE INCLUSION OF Sanwa Holdings Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Sanwa Holdings Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.